東っ子だより

学校スローガン『挑む！』

大村市立東大村小学校
R8年度学校だより第7号
文責 ： 校長 小川広孝
令和8年11月10日発行

体験が心を育て、人とのつながりを深める！

朝夕の冷え込みに秋の深まりを感じる季節となりました。校舎から見える木々も少しずつ色づき始め、子どもたちは秋の自然を感じながら、毎日元気に学校生活を送っています。

早いもので、2学期も折り返しを過ぎました。これまでの学校生活を振り返ると、子どもたちは日々の学習や様々な行事、友達との関わりを通して、一人一人が着実に成長していることを感じます。何事にも一生懸命に取り組む姿や、友達と協力しながら頑張る姿に、頼もしさを感じる毎日です。

11 月は、実りの秋です。これまでの学びや経験を大切にしながら、さらに自分の力を伸ばしていく時期でもあります。子どもたちが安心して自分らしさを発揮し、笑顔で学校生活を送ることができるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

今月も、保護者・地域の皆様の温かいご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

笑顔と歓声に包まれた秋祭り

10 月 24 日（土）は、東大村小学校の秋祭りにご参加いただき、誠にありがとうございました。当日は、子どもたちの笑顔と元気な声があふれ、地域・保護者の皆様と一緒に、楽しく心温まる時間を過ごすことができました。会場にはたくさんの笑顔が広がり、おかげさまで大変盛会のうちに終了することができました。

この秋祭りを開催するにあたり、企画や準備、運営に携わってくださった学校運営協議会の皆様をはじめ、当日ご参加いただいた皆様、様々な形で支えてくださった地域・保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。子どもたちにとって、皆様と触れ合い一緒に楽しむことができた経験は、かけがえのない思い出になったことと思います。改めて、東大村の地域の温かさと、人と人とのつながりのすばらしさを感じる機会となりました。これからも、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの成長を支えていければと思います。本当にありがとうございました。










裏面に続きます！

「やってみる」「人と関わる」経験が、子どもたちの力に！



体験活動には、見たり聞いたりするだけでは得られない学びがあります。自分で挑戦してできた喜び、思うようにいかない悔しさ、友達や地域の方に教えてもらううれしさ。その一つ一つが、考える力や表現する力、協力する心につながっていきます。

今回の秋祭りは、まさにその大切さを感じる機会となりました。皆様のお力添えにより、子どもたちにとって忘れられない一日となりました。

１１ 月は「ココロねっこ運動強調月間」です！

長崎県では、毎年１１月を「ココロねっこ運動強調月間」としています。

今年、ココロねっこ運動は25周年を迎え、子どもの権利や子どもの意見を尊重する視点を取り入れ、新たな内容へと見直されました。

新しいキャッチフレーズは、**「こどもの幸せを社会のまんなかに～できることから、大人から～」**です。

子どもたちの健やかな成長を願い、私たち大人が日頃から心がけたいこととして、次の「**５つの心がけ**」が示されています。



①**認めよう** こどもの思いや、その子らしさを受け止めよう。

②**聴こう** こどもの話や心の声に耳を傾けよう。

③**見守ろう** こどもの「やってみたい」気持ちを応援しよう。

④**つながろう** 地域で互いに支え合う関係をつくろう。

⑤**示そう** できることから、大人から行動しよう。

子どもたちは、周囲の大人との温かな関わりの中で、自分を大切にする心や他者を思いやる心を育んでいきます。

学校でも、子ども一人一人の思いや願いを大切にし、認め、励ましながら、安心して自分らしく過ごせる環境づくりに努めてまいります。

ご家庭や地域におかれましても、ぜひ子どもたちの声に耳を傾け、温かな言葉かけをお願いいたします。子どもたちの笑顔と幸せのために、学校・家庭・地域が手を取り合い、みんなで子どもたちの成長を支えていきましょう。



「読書集会」を行いました！



読書週間に合わせて読書集会を行い、貸出冊数が多かったお友達を表彰しました。

これを機会に、さらに本に親しみ、心豊かな時間を過ごしていってほしいと思います。

